



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第17号

平成17年11月15日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



▲AED（半自動徐細動器）講習会開催の様子

救急の日（九月九日）にAED（半自動 除細動器）講習会を開催

当院では医療事故予防対策のため、従来から医療機器の正しい使い方を職員に徹底するため、幾度となく研修会を行っています。

今回は、救急の日（九月九日）に併せて、市民健康講座として、一般の市民（外来患者さまを中心に）の方を対象に、当院のエントランスホールにて、AED講習会を開催いたしました。

講習会の内容は、「倒れている人を見つけたらどうするか？心肺蘇生の方法」と題して当院臨床工学科池田主任より、一回あたり三十分の講習会を二回実施し、心肺蘇生の手順である意識確認の方法、人工呼吸、心臓マッサージ及びAEDの必要性和操作方法について、実際に訓練用人形、AED、モニターなどを使用して行われました。

また、同時に防災用品コーナーを設け、非常食等を展示いたしました。

突然の心停止をきたした傷病者には、心肺蘇生法をただちに実施し、速やかにAEDを行えば、助かる可能性が高く、有効的なことから、条件付ではありますが、非医療従事者にも機器使用が認められました。

今後、公共の場所に多くのAEDが設置され、心肺蘇生法とAEDの使用方法を学んだ市民の方が増えることが理想です。

具体的な「心肺蘇生法」については、次ページに掲載してあります。

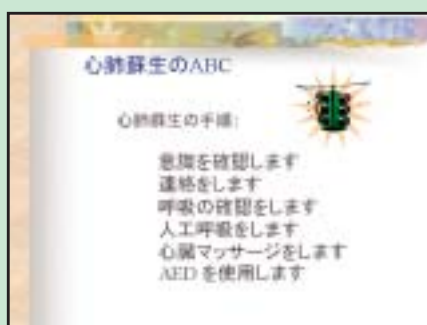
〔心肺蘇生の方法〕

下記に心肺蘇生の方法の概略を掲載いたしました。これはあくまでも概略であり、心肺蘇生の方法のマニュアルではありませんのでご留意下さい。

実際に心肺蘇生を行う場合は、心肺蘇生の方法やAEDの使用法等をきちんと学んだ方が行うようにして下さい。

※注意…曖昧な知識で心肺蘇生を行うと、逆に事故に結びつく可能性があり、大変危険ですので、十分に注意が必要です。

（なお、具体的な心肺蘇生法及びAEDの使用方法について興味がある方、講習会等を希望される方は、お近くの消防署へお問い合わせ下さい。）



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

増床事業スタート

市民病院の増床工事始まる

現在三百床で稼働している長野市民病院は、初期救急医療に対応する百床を増床するため用地交渉を進めてきましたが、地権者の皆さんのご協力を頂き、本年六月に新病棟の建設用地を取得することができました。

その後、埋蔵文化財の試掘や地盤調査を行い、八月下旬からは病院の敷地内となってしまう道路と水路の付け替え工事に着手しています。現在水路の付け替え工事を実施していますが、今後道路の付け替え工事を行っています。

新病棟は年度内に着工し、平成十八年度に新棟を建設した後、病院運営を続ける中で施設を順次移転しながら、既存建物の改修を行い、平成十九年度中には全ての工事が終了できるよう進めていきます。この間病院の内外にわたりご不便、ご迷惑をおかけすることになりますがご理解、ご協力をお願いします。

今回の増改築により、三六五日・二四時間体制で地域基幹病院(長野赤十字病院)と連携し取り組んでいく救急医療専門の救急部の創設をするとともに、救急及び重症病床三十床と、その後方病床で、救急病棟からの回復期、急性期から回復期のリ

ハビリ及び緩和ケア対象患者の病床七十床、合わせて百床が増床となるものです。

また、人間ドックも毎日十人を三十人に拡大するなど、より病院機能の向上を図る事により、長野市北部地域の中核病院としての使命を果たしていくこととなります。



〈増床用地の造成工事〉



〈水路工事の様子〉



〈増床後の外観図 (病院南側より)〉



〈造成工事の様子〉



「水と塩」

循環器科統轄科長 丸山 隆久

血管疾患を扱うことの多い部門といえ、循環器科や脳外科などで、いづれも年中多忙ですが特に季節の変わり目には忙しくなります。だんだん寒くなる頃に血管が縮みがちになって詰まったり破れたりする、というのは印象として理解しやすいところですが、暑くなりかけの頃というのも油断できません。あのうらかな5月の連休の前後、

心筋梗塞や脳梗塞は意外と多いものです。なぜでしょう。汗を多くかくのに真夏のように水分摂取をしない、そのうすると脱水傾向になり、血液は濃縮します。狭窄など既に問題を抱えた血管において、濃縮して粘稠になった血液が血栓を形成して詰まりやすくなる、というのがおおざっぱなストーリーです。ですから、日頃のごく自然な習慣として、十分な水分摂取をして脱水を避けることが大切です。

ただし、塩分の過剰摂取が伴っていると不都合なことになります。水は塩を薄めようとする方向に移動します。体内の塩分が多ければ、水はこれを薄

めようとして体内に貯留傾向となり、血圧上昇や心臓への負担増を招きます。塩分の過剰がなければ必要な水は排出されていきます。ちなみに高血圧症の治療の基本が減塩であることは以上のような理由からです。

すなわち一般の方の心掛けとしては、「塩分は程々に抑えつつ水分はしっかり摂る」ということになります。心機能（心臓の動き具合）や腎機能の低下がある場合には水分の過剰摂取による負担が基礎疾患の増悪を招くことがありますので、水や塩については主治医と御相談ください。

捕足ですが、スポーツドリンクにはかなりの糖分が含まれて

いますので、これを日常的にガブ飲みすることは糖尿病を招くことがあります。また、特殊な急性の病態においては事情が異なっており、例えば熱中症の場合には水分補給と合わせて適度の塩分摂取が必要となります。

以上は、特に持病のない方の一般的な心掛けとしてのお勧めを述べさせていただきました。脱水予防の重要性和、水が「塩を求めて移動する」性質を是非覚えておいて下さい。

みなさまの 声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見・ご要望をいただいております。

毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

毎

回、支払いに時間がかかるのになぜ窓口は一ヶ所しか開いていないのですか。

（女性外来患者）

◆回答

会計窓口は、診療を終えた患者様の状況を見ながら、八時三十分から八時四十五分までは一名、八時四十五分から十時までは二名、十時から十三時まで三名、十三時以降は二名で対応しております。窓口が混雑する場合は、臨機応変に担当者を増やすなどして対応しておりますが、対応が遅れお待たせしてしまい、申し訳ございません。

内科の受付で通院券を箱の中に入れても、直接係員に手渡した方が、先に処理されていってしまいます。これではルールを守る意味が無い。

（男性、外来患者）

◆回答

再来受付機や総合受付で受付をされますと、受付票に順番が表示されます。診療はその受付番号を基に行われますので、手渡しを優先するものではありません。診察や注射、検査等、内容によって順番が前後することもございますが、ご理解をお願いします。

市

市民病院はかかりつけの医師にかかるよう協力を求めているが、患者の近くに必ずしも医師が営業しているとは思われないので、具合が悪くなれば市民病院へ行く人が多く、土曜日開業も希望している人も多い。

また病院は信大の医師養成のためなのか市民のために設立したのか、市民病院として患者のための病院になることを望みます。

（男性）

◆回答

近くに開業医がなく、市民病院が一番近い方まで、まず開業医へということはありませんので、ご理解をお願いいたします。

土曜日の開業につきましては、よ

登録医ってなあに？

登録医とは開放型病院である長野市民病院の趣旨にご理解・ご賛同いただいた先生方です。登録医の先生方には、ご紹介いただいた患者さんの治療に必要な専門的検査の優先実施や、専用の病床を用意すると共に、入院中も退院後も長野市民病院医師と共同で診療にあたっていただけます。また、長野市民病院での治療や検査が終わり、お住まいの近くでの継続治療をご希望の場合は登録医をはじめ最適な医療機関をご紹介しますので、遠慮なくお申し出下さい。

登録医または
かかりつけ医にかかると…



＜現在までの治療経過などがあるので、診断や治療が適切に行えます＞



＜専門的検査や入院が必要な場合は
長野市民病院を紹介します＞

診療情報提供書
(紹介状)

FAX送信

＜長野市民病院 地域医療連携室＞
＜診察予約がその場でできます＞

＜紹介医からの診療情報や依頼内容により、専門的
検査や治療が専門医によって迅速に行われます＞

紹介医から依頼された、検査や治療を終え、継続治療が必要な場合は、紹介元の医療機関で適切な治療がうけられるように、処方などの診療情報を返書にてお送りします。
なお、定期検査や容体が悪化した場合などには、いつでも長野市民病院で治療がうけられますので、ご安心して下さい。



長野市民病院に
直接来院されると…

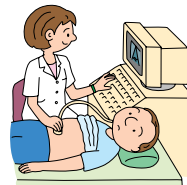


初診の方へ

＜待ち時間が長い、初診予約がとれない＞
＜紹介状がない場合は、1,500円の特別
初診料が加算されます＞



＜診療情報がないため治療歴、既往歴など
問診や検査など最初から行うことになり、余
分な時間や診療費用が必要となります＞



く理解できませんが、土日を休診にせざるを得ない一番の原因は職員のマンパワー不足です。特に公立病院では土曜日開業のところはほとんどなく、民間も含めて土曜開業の場合は水曜や木曜休診が多いようです。

市民病院は信大の医師養成機関ではなく、市民の皆さまのためのものです。医師不足の世の中、医師集めに苦労しておりますが、それでも他病院に比べ恵まれている方だと思えます。若い医師も最低2年以上信大又は他病院で研修を積んでから当院へ赴任します。しかし患者様に一人前だと評価される医師になるにはいろいろな病院を経験し、またその中で患者様に育てられて十年、十五年とかかります。市民病院としてもなるべく長く勤められる医師の比率を高めるよう努力をしていますのでご理解をお願いいたします。

熱があるのに三時間も待っています。二時間

前にあと一時間くらいと言われました。先程、再び、あと一時間とのことでした。もう少し適切に時間は伝えられませんか。
(女性、外来患者)

回答

お待たせして申し訳ございません。職員の気配りを徹底するよう努力してまいります。

当院は予約診療を基本としておりますが、予約患者様の間に、初診の方や予約なしの方も順番に、症状に応じてできるだけ専門医が診察させていただくよう対応しております。初診や予約なしの患者様も多く、また救急患者への対応などにより予定どおりに診察が進まないこともありまので、発熱や痛み等でつらい症状の際は、ご遠慮なくお近くの職員にお声をかけてください。ベッドに横になっていただくなどの対応をさせていただきます。

院長の片桐先生は長野市内のご出身であり、金沢大学医学部第一内科大学院博士課程をご卒業後、北陸三県及び静岡県の日赤病院、公立病院等に勤務された後、神奈川県立がんセンター等で消化器系疾患の治療を中心に、胃カメラや大腸カメラ等の経験を積まれたそうです。

その後、8年前に故郷の長野に戻られ、厚生連長野松代総合病院、長野中央病院に勤務され、専門である消化器系疾患の治療にあたり、3年前に現在地に開業されました。

専門である消化器系はもとより、喘息や糖尿病の患者さま等内科全般の診療に力を入れておられ、小さいお子様からお年寄りの方まで幅広い患者様が受診されるそうです。

医師になったきっかけは、院長自身が幼い頃に往診等で医師に診察してもらった時、当時の医師に大変親切にしてもらいお世話になったため、将来は医師になろうと思ったそうです。

医師になって良かったことは、院長自身が幼い頃から生まれ育った地で開業したため、地域住民の方との接点も多く、信頼され頼りにされることが何よりも嬉しいと話されておりました。

また、市民病院とも紹介・逆紹介など病診連携がうまくいっており、今後ともお互いの特色を生かしてより良い医療を行うと共に、地域医療や介護の問題を気軽に相談できる「かかりつけ医」としてスタッフが一丸となって全力を尽くしていきたいと話しておられました。



登録医制度による地域医療連携システムが平成十五年四月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、順次登録医の医師を紹介してまいります。

登

録

医

紹

介

No. 5

長野市民病院正面玄関右側にある石彫刻

「“TAMAGETA” 100BAN」のご紹介

作 者 / 流 政 之(ながれ まさゆき)



左に掲載してある石彫刻。長野市民病院に来られた方なら、一度は目にし、“この石彫刻はいったいなんだろう？”と思った方も多くいると思います。

この石彫刻の作品名は“TAMAGETA 100BAN”と言い、長野市野外彫刻賞100点となったのを記念して作成された大きな作品です。

アフリカ産の黒御影石で、下が2トン、上が3トンの豪快な彫刻です。男女が語り合っている姿、ほのぼのとした明るい雰囲気大きな空間に広がって、見る者を平和で楽しい気分にしてくれます。長野市民がお互いに将来を楽しく

語り合ってほしいとの願いが込められており、「たまげた」というのは信州の方言で「びっくりした」という言葉です。

〈作者のことば〉

このところ町々は町おこしとかけて、彫刻を建てるのがはやりなのか。それでも建てた頃の華やかさはどこえやら。大方のものが町の片隅に忘れられたように薄汚れ、なかには一部が壊れて見る影もないものもある。

このような移り変りの激しい時代にあって、地味ながら彫刻を町に建て続けた長野市では、作品たちも百番目となり、ようやく花が咲かんとする。その記念の作品を流（ながれ）に作れとのこと。なんと嬉しく作家冥利に尽きるのか。

これは長野市野外彫刻のためにと、熱をこめ真面目に作った作品、名付けて信州弁で「たまげた百番」と人々と呼ぶ。それだけにこの彫刻は信州の人たちや生き物すべてに明日の夢を叶えるものになりたいものである。そして、作品という気むずかしい形ではなく、後々の世の名物となってほしいものである。

当院での医療事故防止 研修の取組みについて

当院では地域から信頼される病院づくりを目指し、医療事故を起こさないように日々努力していますが、この中心的役割を果たしている組織が医療事故予防対策委員会であり、その委員会活動の一つに、職員に対する研修会があり、今回は当院の医療事故防止研修の取組みについてご紹介します。

去る十月六日、当院医師の橋田放射線科長と技師の宇野診療放射線科長の二人が講師となり「放射線に関する事故事例と対策」と題して、研修会を行いました。

最初に橋田科長より、医師等が関わる医療事故を中心に、医療事故調査会の鑑定結果、平成十六年度の医療事故報告の説明があり、中心静脈カテーテル挿入に伴う医療事故等、実際にあった医療事故の実例を取りあげるとともに、医師のみならず看護師・医事クラス・技師等の医療従事者による事故報告の件数が増加している現状を踏まえ、医療事故の法律上の責任と損害賠償の発生要件、医療事故と法・倫理等、関係した医療従事者の徹底した事故分析が必要であることを説明しました。

次に宇野科長より、実際の放射線治療に伴う注意点及びMRI等の医

療機器における検査時の注意事項等の説明をしました。

その中で医療事故は放射線の治療のみで起きるものではなく、放射線の検査においても同様に医療事故が起きかねないものであり、検査時の問診による注意事項の徹底が重要であることを説明しました。

例としてMRIの吸着事故例を取り上げ、医療機器を取り扱う技師は、普段身近にポケットに入っているようなハサミや腕時計、携帯電話等の磁気体・機械類・電気製品等を持ち込むことは厳禁であり、患者さんにおいても、体内に磁気体を持っている人は検査が不可になってしまうので、不注意から起こす危険を避けなければならぬと説明しました。

当日の受講者は、医療従事者として、医療事故がいかに身近に置き得るか実感した研修会となりました。



医療事故防止研修 その2

去る十一月一日、当院臨床工学科池田主任が講師となり「輸液ポンプ、シリンジポンプの事故防止」と題して、研修会を行いました。

輸液ポンプとシリンジポンプは、どちらも患者さまに対して輸液を行う際に使用される医療機器ですが、それぞれに特色がありますので、状況に応じた使い分けをする必要があります。

輸液ポンプの特徴は、持続点滴注射を行う際に、長時間にわたり輸液量を正確にし、かつ安全のために使用されるもので、当院では現在六種類のポンプ用輸液セットが存在し、治療に見合ったセットを選択しています。

注意点としては、破損（落下・転倒）、輸液量の入力まちがい、輸液量と予定量まちがい等があるので、当院では、輸液流量の設定（開始時、変更時）は、注射箋の内容を見ながら看護師二人で声を出し、指差し確認をし、安全に使用することで、医療事故防止に努めております。

それに対してシリンジポンプは、輸液セットの代わりにシリンジを使用するもので、持続少量注射向きであり、高濃度の薬品を正確に注入したい場合等に使用されるもので、当院では四種類のシリンジがシリンジ

ポンプに使用されています。

注意点としては、輸液ポンプと同様に破損（落下・転倒）やシリンジポンプにシリンジをセットする際のミス、注入量の入力まちがい等があり、きちんとした管理・確認作業が安全な使用には必要であります。

現在、輸液ポンプ・シリンジポンプに限らず、数多くの医療機器は、今日の医療現場で治療を進めていく上で必要不可欠になりました。

そのため、当日は実際に業務に携わっている看護師を中心に参加者の関心の高さがうかがえる研修会となりました。



外 来 診 療 担 当 日 一 覧

平成17年11月15日現在
長野市民病院

	月	火	水	木	金	備 考	専 門
内 科 (消化器科) (循環器科) (呼吸器科) (神経内科)	○児玉 亮 ○吉池 文明 平井 一也 ○今井 康晴 立岩 伸之 花岡 健 武田龍太郎	山本 寛二 吉池 文明 ○吾妻 俊彦 今井 康晴 ○丸山 隆久 ○児玉 亮 掛川 哲司	○吾妻 俊彦 長田 敦夫 平井 一也 ○長谷部 修 丸山 隆久 ○花岡 健 掛川 哲司	山本 寛二 吉池 文明 吾妻 俊彦 ○立岩 伸之 丸山 隆久 — ○掛川 哲司	○山本 寛二 — ○平井 一也 今井 康晴 長谷部 修 花岡 健 ○武田龍太郎	○印は初診担当です	長田敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井一也 (呼吸器) 今井康晴 (消化器・肝臓) 長谷部修 (消化器・内視鏡) 丸山隆久 (循環器) 山本寛二 (神経内科) 花岡 健 (循環器) 掛川哲司 (腎臓) 吉池文明 (呼吸器) 立岩伸之 (消化器・内視鏡) 武田龍太郎 (消化器) 吾妻俊彦 (呼吸器) 児玉 亮 (消化器)
小児科	○青沼架佐賜 田村 秋穂 信大医師	田村 秋穂 青沼架佐賜	青沼架佐賜 田村 秋穂	田村 秋穂 青沼架佐賜	青沼架佐賜 田村 秋穂	○印はカウンセリング(要予約)です 午前10時以降	青沼架佐賜 (発達・神経・循環器・心身症) 田村秋穂 (免疫アレルギー・血液・腎臓)
午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来	免疫・アレルギー・腎臓 小児心療内科外来	免疫・アレルギー・腎臓 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来		
外 科 (呼吸器外科)	関野 康 沖田 浩一 砥石 政幸	宮川 雄輔 関 仁誌 西村 秀紀	関野 康 宗像 康博 砥石 政幸	— 宮川 雄輔 西村 秀紀	村中 太 関 仁誌 —		宗像康博 (消化器・胃大腸) 西村秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 宮川雄輔 (肝胆臓) 砥石政幸 (呼吸器) 沖田浩一 (消化器) 関野 康 (外科) 村中 太 (外科)
整形外科	— 南澤 育雄 ○信大医師 ○藍場宗一郎 ○松田 智	松田 智 竹山 和昭 藍場宗一郎 ○信大医師 ○南澤 育雄	— 藍場宗一郎 — ○竹山 和昭 ○南澤 育雄	○松田 智 竹山 和昭 — — ○信大医師	— 南澤 育雄 — ○信大医師 ○竹山 和昭	○印は初診担当です	松田 智 (上肢・末梢神経) 南澤育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節) 竹山和昭 (脊椎・関節疾患) 藍場宗一郎 (整形外科一般)
形成外科	○滝 建志 池上みのり	○信大医師 池上みのり	○滝 建志 池上みのり	滝 建志 池上みのり	○滝 建志 池上みのり	○印は初診担当です	
脳神経外科	○竹前 紀樹 徳重 一雄	竹前 紀樹 ○市川 陽三	○竹前 紀樹 —	竹前 紀樹 ○徳重 一雄	○市川 陽三 —	○印は初診担当です 水曜頭痛 外来 (初診)	竹前紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 徳重一雄 (脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 市川陽三 (脳神経外科一般)
皮膚科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實		
泌尿器科	岡根谷利一 中山 剛	西澤 秀治 皆川 倫範	岡根谷利一 西澤 秀治	西澤 秀治 中山 剛	岡根谷利一 皆川 倫範		岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤秀治 (小児泌尿器・尿路結石) 中山 剛 (神経泌尿器科・前立腺肥大・尿道結石) 皆川倫範 (尿路結石・前立腺肥大)
婦人科	森 篤 ○西澤千津恵	○信大医師 —	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	○印は初診担当です	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科一般)
午後 専門外来 (予約制)	森 篤	—	森 篤	—	森 篤		
眼科	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —		風間 淳 (眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	—	野村 康	野村 康		
放射線科	—	橋田 巖	—	橋田 巖	橋田 巖		橋田 巖 (放射線治療) 今井 迅 (画像診断)
歯科・ 口腔外科	宮原 貴彦 田村 稔	田村 稔 宮原 貴彦	宮原 貴彦 田村 稔	信大医師 信大医師	田村 稔 宮原 貴彦	初診・午後外来手術 再 診	田村 稔 (口腔腫瘍) 宮原貴彦 (口腔外科一般)

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199
FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

本紙のバックナンバーは、ホーム
ページでもご覧いただけます。

な が た あ つ お
■発行人：長田敦夫
■編 集：長野市民病院
広報誌編集委員会

*退職・九月三十日付

整形外科科長 木下 久敏 (県身障者リハビリセンターへ)
内科医師 岡本 尚子 (東京都・河北総合病院へ)

*新任・十月一日付

消化器科医師 児玉 亮 (中信松本病院から)

*新任・十月十六日付

泌尿器科医長 中山 剛 (信大医学部から)

*新任・十一月一日付

外科医長 沖田 浩一 (北信総合病院から)

医
師
人
事
異
動

喫煙室の移動について

開院以来、病院内での喫煙は原則禁止でお願いしており、平成十五年の健康増進法の施行もあり、分煙の徹底を図るべく病院内一階に喫煙室を設けておりましたが、将来の完全禁煙化に向け、年度内中に現在の一階にある喫煙室を、屋外へ移動することを予定しておりますので、患者さまのご理解・ご協力をお願いいたします。